

維新地金あらかわ

「共産党は日本からなくなったらいい政党」と発言し、「民主主義を否定する暴論」と批判されている維新の馬場伸幸代表。

侵略戦争美化の「靖国派」と共鳴



馬場代表

終戦記念日の靖国神社参拝。維新から自民党に次ぐ13人もが参拝しました。維新の創業メンバーは自民党を割って出た人たちで、自民党の中でも侵略戦争美化勢力の「靖国派」とつながっています。

大阪市内で開かれた教育再生民間ミー

戦争放棄を独善と攻撃し、自民・公明との連立政権の可能性に言及するなど「出自は自民党」の地金があらかわです。

ティング（2012年2月）では安倍元首相と松井大阪府知事（当時）が同席。靖国派教育団体の八木秀次氏が「日の丸・君が代」での起立・斉唱強制条例を「安倍先生の志を受け継ぐもの」「『戦後レジームからの脱却』の大阪版」と激賞しました。

第2自民宣言に続き「自公と連立」繰り返す

馬場氏は維新を「第2自民党でいい」と発言（7月23日）。自民党政治の「補完勢力」であることを自認しました。馬場氏はさらに総選挙で自民、公明が過半数割れした場合、自公連立政権に参加する可

能性に繰り返し言及しました（6、16日）。「維新が伸びても『野党第1党』でなく、『与党第2党』になるだけ」（共産党・志位和夫委員長）です。政治は全く変わりません。

維新はNHKの世論調査で5月6.7%、6月6.2%、7月5.6%、8月4.8%と連続して支持率を落としています。「日刊ゲンダイ」（17日付）は、大阪万博の準備が大幅に遅れ、経費が当初計画の1.5倍の1850億円にまで膨張していることを指摘。「『どこが身を削る改革なのか』と批判が維新に向かっている」と書いています。

支持率続落

統一協会と接点

自民党は統一協会（世界平和統一家庭連合）と接点のある国会議員の数を180人と公表しています（昨年9月）が、そのうち77人を次期衆院選の候補者と

自民国会議員次つき“復活”

なる支部長に選任。同協会との癒着関係を指摘され閣僚を辞任した山際大志郎元経済再生相、萩生田光一政調会長、下村博文元文科相ら閣僚関係者がズラ

りと並んでいます。

政治家との結びつきが、靈感商法など反社会的活動を支えてきたことに何の反省もありません。

共闘の力で 憲法9条・13条の政治を

市民連合、共産党に要請



市民連合の人たちから要請書を受け取る志位和夫委員長（中央）ら=10日、衆院第1議員会館

「安保法制の 廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」 日本共産党

は10日、日本共産党と懇談し、立憲野党と市民の共闘で、憲法9条と13条（幸福追求権）の政治の実現を求める要請書を手渡しました。

志位和夫委員長は「要請の趣旨は全面的に賛同します」「難しい条件はあるが共闘の再構築のために努力していきたい」と応じました。

『日本共産党の
百年』
タブロイド判
280円

お求めはお近くの
党事務所

